

乳がん地域連携パス運用方法（医療者用）

和歌山県立医科大学附属病院

病棟主治医

1. 地域連携パス説明書・同意書について説明
2. 乳がん地域連携パス（医療者用）について説明し患者に渡す
3. 初回受診日までにかかりつけ医を決めておいてもらうように、かかりつけ医の一覧表を渡す
4. コスト算定
(電子カルテから 指示②→指導料→<一般指導料>がん治療連携計画策定料)



外来主治医（退院後初回受診日）

1. かかりつけ医を決定し、(5大がん連携パス用)診療情報提供書を記載し患者に渡す
(電子カルテから カルテ→紹介状作成→(5大がん連携パス用)診療情報提供書)
2. パスに連携する医療機関名を記入



病棟看護師

1. わたしのカルテについて説明
 - がん地域連携パス（患者用）について
 - 自己チェックシートについて
 - わたしのカルテを診察時（当院、かかりつけ医とも）に持参することを説明

使用方法についても説明してください

外来看護師

1. わたしのカルテに必要事項記入（連携する医療機関名や今後の受診日程等）
2. 地域連携室へ連絡
(乳がん地域連携パス（共同診療計画書）コピー1部を地域連携室へリニア搬送)
3. パス不適用となった場合、地域連携室へ連絡

和歌山県立医科大学附属病院 外来診察

◆診療情報提供書を患者に渡す

地域連携室

- かかりつけ医への連絡
- その他情報提供、今後の相談

患者

連携医療機関（かかりつけ医）

- 乳がん地域連携パスに沿って、日常診療をおこなう。
- 当院受診時に必要な診療情報提供書を患者に渡す。